



ERP² for SAP

SAP[®] Certified
Integration

ERP²を使用すると、簡単な3段階のプロセスで、スプレッドシートやデータベースからSAPにデータを素早く正確に転送できます。

SAPにアップロードするデータの大半は、Microsoft ExcelスプレッドシートやMicrosoft Accessデータベースといったデジタル形式ですでに存在します。データをスプレッドシートやデータベースから移行するには、手動によるデータ入力か、ABAP開発担当チームが必要になります。

従来の柔軟性に欠けるABAPアップロードプログラムを専用に構築するよりはるかに安価なコストでERP²を導入することによって、ExcelファイルやAccessファイルを直接SAPにアップロードできます。ABAPのプログラミングやテクニカル知識は必要ありません。Microsoft Officeアプリケーションをデータ管理プラットフォームとして使用しているため、別途トレーニングやソフトウェアを必要とせずに、データのアップロードの操作や準備を行うことができます。

ERP²(「ERPスクエアード」と読みます)は、ユーザーのワークステーションに直接インストールするデスクトップアプリケーションで、SAPシステムへのインストールやシステム変更は必要ありません。インストールプロセスは迅速で簡単です。また、わかりやすいインターフェイスで、数時間で操作を習得できます。ERP²を導入したクライアントの多くは、製品をインストールしたその日に、データのアップロードや固有のテンプレートの作成を行っています。

ERP²は、異なるSAPモジュール内のさまざまなアプリケーションに使用できます。一般的には、SAPデータの一括アップロード、SAPデータの一括メンテナンス、SAPデータの移行、およびSAPデータ入力自動化に使用できます。



ステップ1 - テンプレートを記録する

ステップ2 - アップロードするデータを追加する

ステップ3 - その場でまたは時間を設定してアップロードを実行する

SAPデータのアップロードが3つの簡単な手順で瞬時に実現

ExcelファイルやAccessファイルをSAPにアップロードするプロセスは、ほとんど経験のないエンドユーザーでも、簡単な3つの手順で迅速に処理できます。ユーザーは、ERP²内でトランザクションを実行して、その処理を記録します。記録処理が完了すると、アップロード可能なデータとしてExcelファイルやAccessファイルが自動的に作成されます。最後に、ERP²でデータをアップロードするファイルを選択します(プロセスで一番簡単な手順です)。

機能:

インストールと操作が簡単です。

既存のSAPのセキュリティをすべて維持できます。

さまざまな範囲を網羅した標準トランザクションや専用トランザクションを処理できます。

日本語対応

利点:

コストのかかるIT要員が必要ありません。

プログラミングなしで一括アップロードと一括メンテナンス機能を利用できます。

使い慣れたデータ管理ツールを使用できるので、別途トレーニングの必要がありません。

手動でのデータ入力や専用のアップロードプログラムの開発に必要な時間をなくすことで、SAPにデータをアップロードしたり変更する時間が低減できます。

株式会社クライム

〒103-0014

東京都中央区日本橋蛸殻町1-25-4

日本橋栄ビル4F

電話 03-3660-9336

FAX 03-3660-9337

Email: soft@climb.co.jp

<http://www.climb.co.jp>

**Climb Inc.**
Growing to Meet Your Needs